



2026年10月30日

各位

会社名 東北電力株式会社
代表者名 代表取締役社長 社長執行役員 石山 一弘
(コード番号 9506 東証プライム)
問合せ先 経理部予算課長 北島 悟
グループ戦略部門経営推進ユニット
マネージャー 瀧 尚祐
(TEL. 022-225-2111)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

2026年4月30日に未定として公表した2027年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり公表するとともに、同日公表した2027年3月期の配当予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2027年3月期通期連結業績予想数値の修正(2026年4月1日～2027年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	3,470,000	210,000	170,000	120,000	239.80
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2026年3月期)	2,372,420	160,380	126,407	84,975	169.85

(2) 修正の理由

2027年3月期通期の連結業績予想については、これまで未定としておりましたが、今般、東北電力ネットワークにおいて、レベニューキャップ制度に基づく「託送供給等に係る収入の見通し」の変更が承認され、当社としても電気料金の見直しを決定したことや、中東情勢を踏まえた燃料価格の動向等を考慮し、一定の前提のもとで算定いたしました。

売上高は、間接オークションに伴う自己約定を含むエリア外取引の増加などから、前年度より1兆1,000億円程度増加の3兆4,700億円程度となり、前年度に比べ増収となる見通しです。

経常利益は、燃料費調整制度のタイムラグ影響や支払利息の増加などがあるものの、前年度末時価評価影響の振戻しや市場・販売環境の変化に伴う収支改善などにより、前年度に比べ増益となる1,700億円程度の利益となる見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益は、1,200億円程度となる見通しです。

【主要諸元】

		今回予想 (2027 年 3 月期)	(ご参考) 前期実績 (2026 年 3 月期)
販売電力量 (億 kWh)	小売	640 程度	582
	卸売	278 程度	206
	合計	918 程度	789
原油 C I F 価格 (ドル/バーレル)		109 程度	71.4
為替レート (円/ドル)		157 程度	151
原子力設備利用率 (%)		24.5 程度	22.9

【収支変動影響額】

(単位：億円)

項 目	通 期
原油 C I F 価格 (1 ドル/バーレル)	15 程度
為替レート (1 円/ドル)	31 程度
原子力設備利用率 (1 %)	32 程度

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想		20 円 00 銭	40 円 00 銭
今回修正予想		22 円 00 銭	42 円 00 銭
当期実績	20 円 00 銭		
(ご参考) 前期実績 (2026 年 3 月期)	20 円 00 銭	20 円 00 銭	40 円 00 銭

(2) 修正の理由

当社は、利益配分については、安定的な配当を行うことを基本に、当年度の業績や中長期的な収支見通しなどを総合的に勘案し決定することを基本的な方針としております。

また、2025 年 3 月期以降の配当については、これまでの基本的な方針に加え、財務基盤の回復とバランスを図る観点から、当面はDOE（株主資本配当率）2%を目安としながら、総合的に判断していくこととしております。

2026 年 4 月 30 日に公表した 2027 年 3 月期の配当予想については、中東情勢の不透明感等から業績予想を「未定」とした中でも株主の皆さまの予見性を確保する観点から、2025 年度末におけるDOE（株主資本配当率）2%の水準も勘案し、公表時点において配当可能と予想できる水準として、中間配当および期末配当ともに、前年と同額の「1 株当たり 20 円」としておりました。

今般、2027 年 3 月期の業績予想を公表し、一定程度の利益を確保できる見通しとなりました。また、中長期的な財務見通しおよび配当の予見性を確保する観点を踏まえ、会計上の一時的な変動要因である時価評価の影響を除いた前年度末株主資本に対するDOE 2%の水準も勘案し、期末配当予想を、前回予想の「1 株当たり 20 円」から 2 円増配し、「1 株当たり 22 円」に修正することといたしました。

これにより、中間配当 20 円と合わせた年間配当予想は、前回予想の「1 株当たり 40 円」から「1 株当たり 42 円」となります。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上